



ダイレクトドリップアロマコーヒーメーカー

品番：K-CM12

家庭用



もくじ

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	7
各部の名称.....	9
使い方.....	11
お手入れのしかた.....	16
故障かなと思ったら.....	20
製品仕様.....	23
保証書.....	24

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。

 必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コードについて

 めれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

破損した電源コードの修理をしない。
火災・感電・ショート・発火の原因となります。

電源コードを巻き付けたまま・束ねたまま使用しない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源プラグや電源コードが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因となります。

 電源プラグや電源コードを水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。
感電・破損の原因となります。

 交流 100V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

電源プラグや電源コードが破損した場合、直ちに使用を中止する。
すぐにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口へ点検・修理をご相談ください。
感電・ショート・火災の原因となります。



警告

注意

電源コードを製品に巻き付けない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

使用后、本体が十分に冷める前に、電源コードを束ねない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源コードは温度の高くなる部分に近づけたりしない。
電源コードの損傷により、感電や火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電・ショートの原因となります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

■ 本体の取り扱いについて

本体の分解や改造はしない。
火災・感電・けがの原因となります。

本体や各接続部のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。

異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する。
感電・けが・やけどの原因となります。

本体を水に浸したり、水をかけたりしてぬらさない。
火災・ショート・感電・故障の原因となります。

水のかかりやすい場所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因となります。

本体や各部品に衝撃を加えない。
破損してけがや故障・火災・感電の原因となります。

本製品は室内専用です。屋外では使用しない。
火災・故障の原因となります。

使用中や使用直後は蒸気口に手や顔を近づけたりしない。
けが・やけどの原因となります。



カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因となります。

お手入れのときは、シンナー・ベンジン・アルコール・研磨剤、塩素系成分を含んだ洗剤などを使用しない。
変色・変形・感電・破損の原因となります。

幼児の手の届くところで使用・保管しない。
誤使用により思わぬ事故の原因となります。

掃除または使用者による保守を子供が監督なしに行わない。
けがややけど・思わぬ事故の原因となります。

ご使用中に下記のような異常を感じた場合は使用を中止する。

- ・本体が異常に熱い
- ・焦げくさい
- ・異常な動作をする

発火・けがの原因となります。

警告

安全上のご注意 (続き)

○ 本製品は一般家庭用です。
業務用として使用しない。
火災・故障の原因となります。

使用中や使用後しばらくは、
高温部には触れない。
やけどの原因となります。

破損や変形があるときは絶対
に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。

温度の高いところや火気のある
ところ、直射日光が当たる
ところでは使用・保管しない。
故障・変形の原因となります。

不安定な場所や熱・水気・振
動に弱いところで使用しない。
けが・火災の原因となります。

キャビネット内に置いて使用しない。
蒸気や熱でキャビネットが変形・変色
したり、けが・やけど・火災・故障の
原因となります。

使用中は製品から離れない。
発火・火災の原因となります。

使用中は本体を移動させない。
けがの原因となります。

タンブラーやマグカップなど
をのせたまま、本体を動かさ
ない。
落下してけがの原因となります。

壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色し
たり、火災の原因となります。

熱源・火気の近くで使用しない。
火災・変形・故障の原因となります。

本来の使用方法以外の目的・
用途に使用しない。
ユーザーズガイドの内容以外に使用し
たり、誤った方法で使用したときは、
けが・故障の原因となります。

○ 外部タイマーや個別の遠隔操作
システムと一緒に使用しない。
火災・やけどの原因となります。

本体の上や下に燃えやすいも
のを置いたり敷いたりしない。
火災の原因となります。

決められた容量より多いコー
ヒー粉 (40g)・水 (480mL)
を入れない。
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出た
りし、やけどや故障の原因となります。

水タンクに水以外のものを入
れない。
故障の原因となります。

水タンクが空のまま電源を入
れない。
火災・故障の原因となります。

使用中、タンブラーまたはマグ
カップをはずしたり、本体ふた
を開け、水を追加したりしない。
故障・やけどの原因となります。

タンブラーまたはマグカップ
がない状態で使用しない。
けが・やけど・水漏れ・故障の原因と
なります。

コーヒー抽出中や抽出直後に
本体ふたを開けない。
蒸気が吹き出てやけどの原因となりま
す。

メッシュフィルター (ペーパー
フィルター) にコーヒー粉以
外のものを入れない。
湯がこぼれたり、あふれ出たりし、や
けどや故障の原因となります。

メッシュフィルター (ペーパー
フィルター)、バスケットなし
で使用しない。
けが・やけど・水漏れ・故障の原因と
なります。



注意

⚠️
注意



本体以外の水洗いできる部分
は、熱湯をかけたり、食器洗
浄機・食器乾燥機など使用し
ない。

変色・変形・劣化や破損などの原因とな
ります。耐熱温度は各容器・各部品に
よって異なりますが 60°C 以上のお湯
でお手入れしないでください。

電源コードが通行や動作の妨げ
になるような場所で使用しない。
電源コードが引っ掛かり、製品が落下
して、けがや故障の原因となります。



持ち運びやお手入れは、電源
プラグをコンセントから抜き、
本体が十分に冷めてから行う。
火災・やけどの原因となります。

使用後は十分にお手入れして
乾燥させる。

そのまま長く放置すると、カビやサビ
などの原因となります。

連続して抽出するときは、抽
出後 5 分待ってから、水タン
クに水を入れる。

抽出後すぐに水を入れると、蒸気が
吹き出てやけどの原因となります。

■ 真空断熱タンブラーの取り扱いについて

⚠️
警告



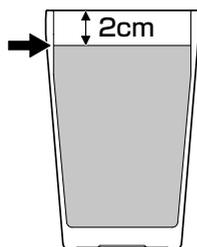
乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらには十分注意
する。

けがややけど・思わぬ事故の原因となります。



最大使用量 320mL 以上（上
端より約 2cm 低い位置）の
飲みものを入れない。

飲みものがあふれ出たり、漏れたりして、
やけどやものを汚損する原因となります。



飲みものの保温・保冷以外に
使用しない。

思わぬ事故の原因となります。

落とす、ぶつけるなど強い衝
撃を与えない。

やけどやけが、漏れの原因となります。
また、変形・破損して、保温・保冷不
良などの原因となります。

電子レンジ・オーブンでの加
熱はしない。

火花が飛んで、機器が故障する原因
となります。また変形や変色する原因
となります。

冷凍庫には入れない。

破損の原因となります。

直火（ガス台など）や電気ヒーター・
IH 調理器などで加熱しない。

火災や破損の原因となります。

⚠️
注意

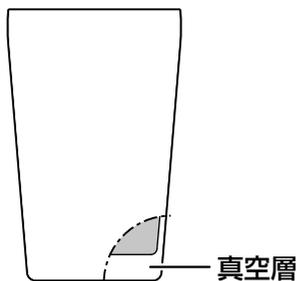
ストーブやコンロなどの火のそ
ばに近づけたり、温度の高いと
ころでは使用・保管したりしない。

変形、変色の原因となります。

安全上のご注意 (続き)

- ⊘ 真空二重構造の内部(真空層)から水の音がする場合は使用しない。

真空層に入った水がタンブラー内側にしみ出した場合、飲んで体調不良の原因となります。



- 保温効力が低下したときは使用しない。

熱い飲みものを入れるとタンブラーの表面が熱くなり、やけどの原因となります。

- タンブラーの表面をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない。

傷の原因となります。

- 分解や改造はしない。

破損、思わぬ事故の原因となります。

- タンブラーは水中に放置しない。

すき間に水が浸入し、サビや保温・保冷不良などの原因となります。

- ⊘ 煮沸はしない。
熱により部品が変形し、漏れてやけどや、ものを汚損する原因となります。

- 車などの走行中は、使用しない。(飲み口ふたやタンブラーふたを開けない。)

やけどやものを汚損する原因となります。特に運転者の場合は運転への注意が散漫になり、非常に危険です。

- 食器洗浄機・食器乾燥機などは使用しない。

熱により部品が変形し、漏れてやけどや、ものを汚損する原因となります。

- タンブラーふたの取っ手で真空断熱タンブラーを持ち運ぶ際に、振り回さない。

やけどやものを汚損する原因となります。

- ⚠ 精密機器付近で使用する際は倒れないよう十分に注意する。また、精密機器と一緒に持ち運ばない。

傾いた時に飲みものがこぼれ、機器の故障の原因となります。

- タンブラーふたの取っ手で真空断熱タンブラーを持ち運ぶ際に、タンブラーとタンブラーふたをしっかりと閉めていることや飲み口ふたが確実に閉まっていることを確認する。

やけどやものを汚損する原因となります。

⚠ 注意

使用上のご注意

- **本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。**
火災や故障の原因となります。
- **壁や家具の近くで使用しないでください。**
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。
- **不安定な場所や熱・水気・振動に弱いところで使用しないでください。**
けがや火災の原因となります。
- **はじめてご使用になるときは、本体以外の水洗いできる各部品を水洗いして乾燥させてからご使用ください。水洗いする際は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。**
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが60℃以上のお湯でお手入れしないでください。
お手入れのしかたは17ページを参照してください。
- **はじめてご使用になるとき、または長時間使用していなかったときは、コーヒー粉を入れずに、水だけで1、2回抽出し、内部の洗浄をしてください。**
- **水タンクに水以外のものを入れないでください。**
故障の原因となります。
- **使用中、タンブラーまたはマグカップをはずしたり、水タンクふたを開け、水を追加したりしないでください。**
故障・やけどの原因となります。
- **メッシュフィルター（ペーパーフィルター）・バスケット・タンブラーまたはマグカップがない状態で使用しないでください。**
お湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出たりし、けが・やけどや故障の原因となります。
- **コーヒー粉以外の抽出に使用しないでください。**
故障の原因となります。
- **コーヒー抽出中や抽出直後に本体ふたを開けないでください。**
蒸気が吹き出てやけどの原因となります。
- **連続して抽出するときは、抽出後5分待ってから、水タンクに水を入れてください。**
抽出後すぐに水を入れると、蒸気が吹き出てやけどの原因となります。
- **お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどを使用しないでください。**
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- **ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。**
本体内部にカルシウム成分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム成分がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。
- **使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。**
そのまま長く放置すると、カビやサビなどの原因となります。

使用上のご注意 (続き)

<真空断熱タンブラーについて>

- **完全密閉構造ではありません。**
 - ・飲みものを入れた状態で横にしないでください。
 - ・飲み口ふたを開けていても、漏れることがあります。やけどやものを汚損する原因となります。
 - ・飲みものを入れた状態でバッグに入れて持ち歩かないでください。
 - ・飲みものがこぼれてやけどやものを汚損する原因となります。

- **倒さないでください。**

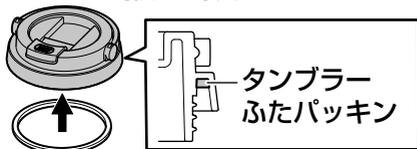
誤って倒すと、やけどや精密機器の故障、ものを汚損する原因となります。

- **熱い飲みものを入れる場合、下記事項を必ず厳守してください。**

- ・飲みものを入れるときは、倒れないように注意してゆっくり注いでください。
- ・飲みものがこぼれてやけどやものを汚損する原因となります。
- ・傾けた状態、または顔などを近づけた状態で飲み口ふたやタンブラーふたを開けないでください。
- ・飲みものがあふれ出たり、飛散したりし、けがややけどの原因となります。
- ・急に傾けないでゆっくり飲んでください。
- ・急に傾けると、飲みものが勢よく飛び出し、けがややけど・思わぬ事故の原因となります。
- ・振らないでください。
- ・けがややけどの原因となります。

- **タンブラーふたパッキンを正しく取り付けてください。**

飲みものがあふれ出たり、漏れたりし、やけどやものを汚損する原因となります。



- **飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。**

飲みものの腐敗や変質、サビの原因となります。

- **外気温や放置時間により、保温・保冷力が異なります。**

- **使用後は必ず毎回お手入れし、十分に乾燥させてください。**

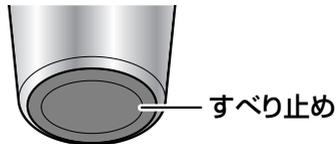
そのまま長く放置すると、カビやサビなどにより保温・保冷不良の原因となります。

- **アイスピックなど先のとがったもので突かないでください。**

破損・保温・保冷不良の原因となります。

- **本体底のすべり止めは、絶対にはがさないでください。**

保温・保冷不良の原因となります。



- **タンブラーふたを取り付けるときは、タンブラーを傾けたり、揺らしたりしないでください。**

飲みものがあふれ出たり、漏れたりし、やけどやものを汚損する原因となります。

- **大きな氷を入れる場合は、無理やり押しこまないでください。**

無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形や破損の原因となります。

- **食器洗浄機・食器乾燥機などは使用しないでください。**

熱により部品が変形し、漏れてやけどや、ものを汚損する原因となります。

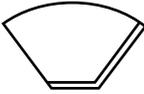
- **次のものは絶対に入れないでください。**

- ・ドライアイス・炭酸飲料
内圧があがり、タンブラーふたが開けにくくなったり、飲みものが吹き出るなどのおそれがあります。
- ・牛乳・乳飲料・果汁など
腐敗や変質の原因となります。腐敗などによりガスが発生して飲み口ふたの破損や飲みものが飛散するおそれがあります。

各部の名称

メッシュフィルター

ペーパーフィルターを使用することもできます。ご使用するときは「2～4杯用」のものをご使用ください。
サイズ：(1×2) または (102)



バスケット取っ手

バスケット

抽出口

本体ふた

水タンク

本体

レバー

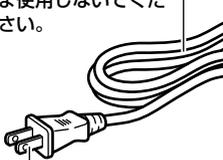
カップトレイ
カバー

カップトレイ

POWER ボタン
(POWER ランプ)

電源コード

※電源コードは束ねたまま・巻き付けたまま使用しないでください。



電源プラグ

DRIP
ランプ



DRIP ボタン

抽出を開始します。

アロマボタン

ボタンを選択してコーヒーの味いを選ぶことができます。



アロマランプ

MILD

連続抽出 (蒸らし機能なし)

MEDIUM

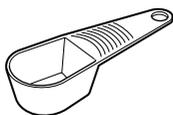
蒸らしながら間欠抽出

STRONG

蒸らしながらゆっくり間欠抽出

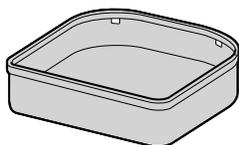
各部の名称 (続き)

付属品



計量スプーン

(すり切り 1 杯 : 約 5g)



高さ調節トレイ

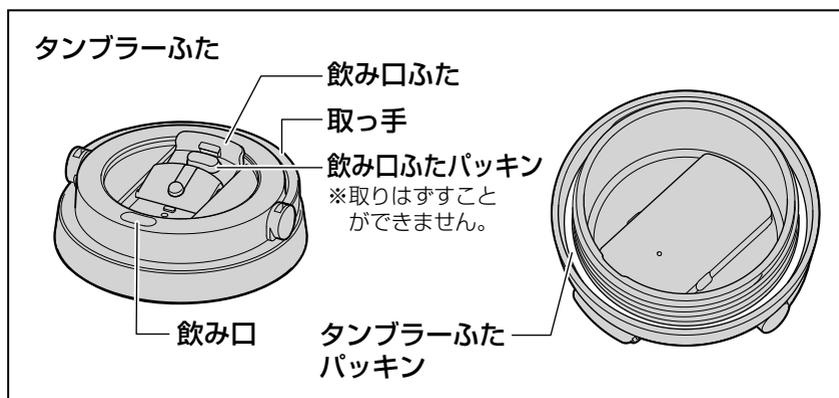
※カップトレイと同じものです。



タンブラーふた

タンブラー

真空断熱タンブラー



使い方

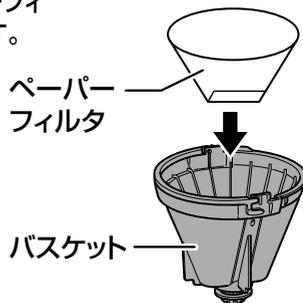
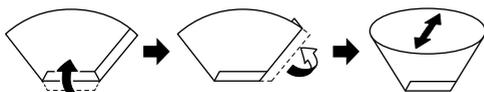
1 コーヒー粉を入れます。

- ① 本体ふたを開け、メッシュフィルターまたはペーパーフィルターをバスケットに取り付け、本体に取り付けます。

ペーパーフィルターの折りかた

2～4杯用のサイズのペーパーフィルターを使用できます。サイズ：(1×2) または (102)

- ①底のシール部分 を折り曲げる ②側面のシール部分を底と逆側に折り曲げる ③内側を広げる



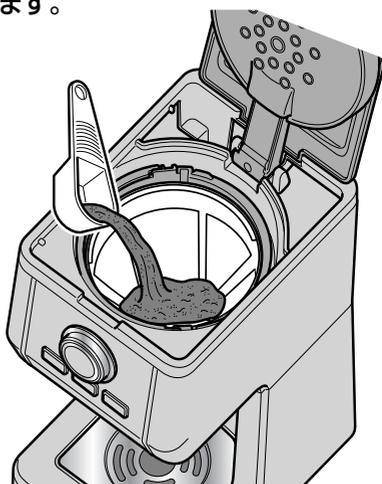
- ② 計量スプーンでコーヒー粉をメッシュフィルターまたはペーパーフィルターの中に入れます。

できあがり	コーヒー粉の量 計量スプーン(すりきり)
付属のタンブラー 1杯 (320mL)	3～5杯
最大 (480mL)	4～8杯

※ 付属の計量スプーンは、1杯(すり切り)が約5gです。マグカップを使用するときは、水量に合わせてコーヒー粉の量を調節してください。

※ 上記のコーヒー粉の量は目安です。お好みにより調節してください。

※ 計量スプーン8杯(40g)を超える量を入れないでください。



- お願い** ● コーヒー粉は、中挽き粉を使用してください。
細挽き粉を使用する場合は、ペーパーフィルターを使用してください。
メッシュフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれ出ることがあります。

⚠ 注意

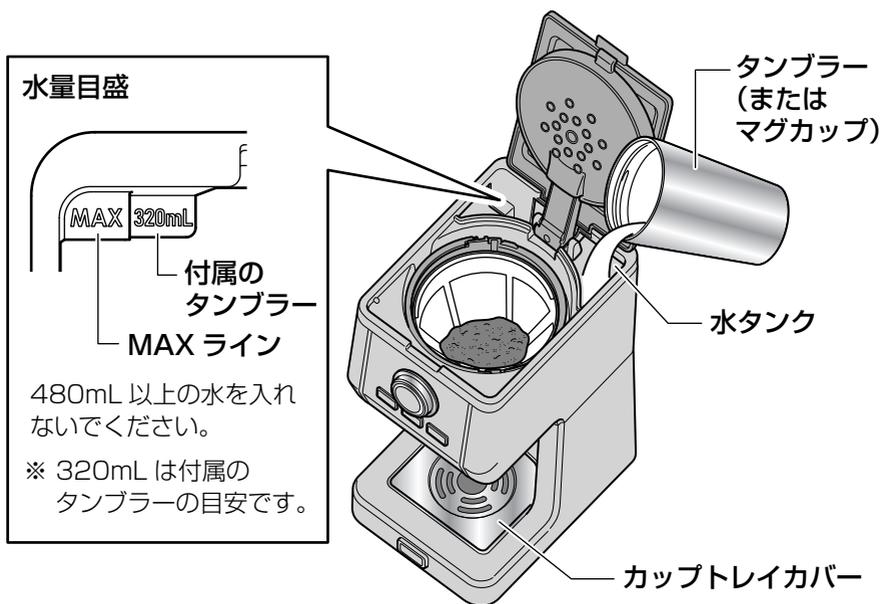
- コーヒー粉は、必要な量以上入れないでください。
コーヒーがこぼれ、やけどの原因となります。
- バスケットに直接コーヒー粉を入れないでください。
必ずメッシュフィルターまたはペーパーフィルターを取り付けて使用してください。
お湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出たりし、やけどや故障の原因となります。

使い方 (つづき)

② 水タンクに水を入れます。

① 付属のタンブラーやお手持ちのマグカップの容量に合わせて水タンクに水を入れます。

- ・最大使用水量は 480mL ですが、付属のタンブラーを使う場合は水タンクの 320mL の目盛まで水を入れてください。
- ・マグカップ (480mL 以下) でコーヒーを作る場合はマグカップで水タンクに水を入れてください。



⚠️ 注意

- 水タンクに使用するタンブラーまたはマグカップ以上の水を入れないでください。
コーヒーがあふれ出て、やけどや故障の原因となります。
- お手持ちのマグカップを使用する際は、480mL 以上の水を入れないでください。
コーヒーがあふれ出て、やけどや故障の原因となります。
- 40℃以上のお湯は入れないでください。

🙏 お願い

- カップ 1 杯 (約 120mL) 以上の水を入れてください。
空焚きすると故障の原因となります。

② 本体ふたを閉じます。

3 付属のタンブラーまたはお手持ちのマグカップをカップトレイカバーの中央に合わせてのせます。

レバーが確実に押されていることを確認してください。レバーを押さえていないと、コーヒーが出ません。

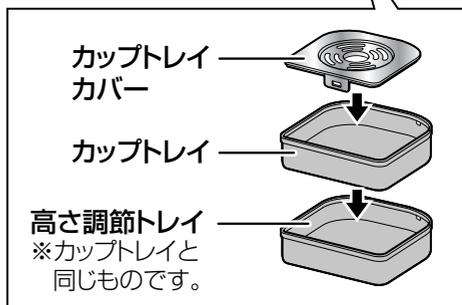
バスケットからコーヒーがあふれ、やけどや故障の原因となります。

小さいマグカップを使う際は、高さ調節トレイをカップトレイの下に入れ、マグカップをのせてください。

付属のタンブラーまたは大きいマグカップの場合



小さいマグカップの場合



⚠ 注意

- 必ずタンブラー・マグカップをカップトレイカバーの上ののせてから、電源を入れてください。

バスケットからコーヒーがあふれ出て、やけどや故障の原因となります。

- 必ずタンブラー・マグカップをカップトレイカバーの中央に合わせてのせてください。レバーが押されていないと、コーヒーが出ません。

バスケットからコーヒーがあふれ出て、やけどや故障の原因となります。

使い方 (つづき)

4 電源プラグをコンセントに差し込み、POWER ボタンを押します。

POWER ランプが点灯し、MILD、MEDIUM、STRONG のアロマランプが点滅します。

5 アロマボタンを選択して味わいを選びます。

アロマランプが点灯し、DRIP ランプが青色に点灯します。

〈付属のタンブラーで抽出する場合の時間の目安〉

MILD	約 4 分
MEDIUM	約 5 分
STRONG	約 7 分

※ 室温、水温、コーヒー粉により、コーヒーのできあがり量は多少異なります。

※ コーヒー粉の種類や焙煎度合いにより、酸味や苦味、コク、香りなどが異なります。

6 DRIP ボタンを押して抽出を開始します。

しばらくするとコーヒー抽出（ドリップ）が始まります。

● 抽出中は DRIP ランプが青色に点滅し、抽出が完了するとオレンジ色の点灯に変わります。

警告

● 抽出中・抽出直後は蒸気が発生するため、本体上部や高温部に手や顔を近づけないでください。

やけどの原因となります。

● 抽出中、手でタンブラー・マグカップを押さえないでください。
やけどの原因となります。

7 抽出が終了したら、タンブラーまたはマグカップを取り出します。

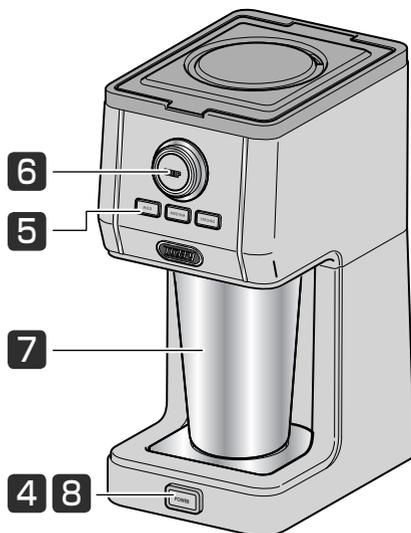
ポイント

抽出後は、30～60 秒ほど待ち、コーヒーが落ちきってからタンブラーまたはマグカップを取り出してください。

粉の量、粉の挽き具合によってバスケットとメッシュフィルター（ペーパーフィルター）内にお湯が残ることがあります。

8 POWER ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

抽出終了後、3 分間操作しないと、POWER ランプが消灯し、電源が切れます。



続けてコーヒーを作る場合

いったん POWER ボタンを押して電源を切り、本体が冷めるまで 5 分以上待ってから、再度 ①～⑦ の手順で抽出してください。



注意

連続して抽出するときは、抽出後 5 分以上待ってから、水タンクに水を入れてください。

抽出後すぐに水を入れると、蒸気が吹き出てやけどの原因となります。

抽出を途中で中止する場合

POWER ボタンを押して電源を切ってください。

水タンクに残った水は、タンブラーまたはマグカップなどをセットした状態で、再度電源を入れて MILD ボタンを押し、DRIP ボタンを押してすべて抽出してください。

お願い

- タンブラーふたをするときは、飲み口ふたを開けた状態で時計回りにしっかりと止まるまで回し、「カチッ」と音がするまで飲み口ふたを閉めてください。閉めた状態では、一時的にタンブラー内の圧力が増し、中身が吹きこぼれる場合があります。



- コーヒーはなるべく早めにお召し上がりください。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して飲み口ふたの破損やコーヒーが飛散するおそれがあります。
- 完全密閉構造ではありません。
 - ・ 飲みものを入れた状態で横にしないでください。飲み口ふたを閉めていても、漏れることがあります。やけどやものを汚損する原因となります。
 - ・ 飲みものを入れた状態でバッグに入れて持ち歩かないでください。飲みものがこぼれてやけどやものを汚損する原因となります。
 - ・ 傾けた状態、または顔などを近づけた状態で飲み口ふたやタンブラーふたを開けないでください。飲みものがあふれ出たり、飛散したりし、けがややけどの原因となります。
 - ・ 急に傾けないでゆっくり飲んでください。急に傾けると、飲みものが勢いよく飛び出し、けがややけど・思わぬ事故の原因となります。

お手入れのしかた

使い終わったら、お手入れをしてください。

⚠ 注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ショート・感電・やけど・火災の原因となります。
- 十分に温度が下がってからお手入れをしてください。
やけどの原因となります。
- 本体は防水加工など施していませんので、本体に直接水をかけたり、水に沈めたりしないでください。
ショート・感電・火災の原因となります。

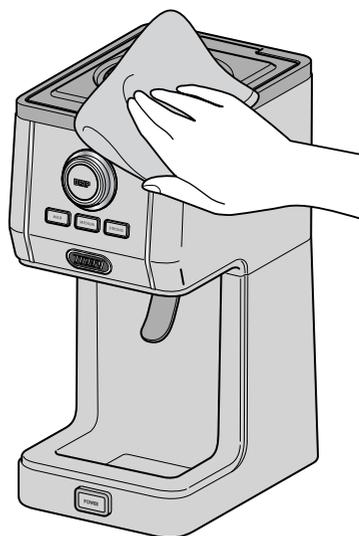
お願い

- 研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどを使用しないでください。
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。

通常のお手入れ

本体

汚れたときは湿らせた布で拭いてください。
長期間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。



メッシュフィルター、計量スプーン、バスケット、カップトレイカバー、カップトレイ、高さ調節トレイ、タンブラー、タンブラーふた、タンブラーふたパッキン

柔らかなスポンジに、台所用洗剤をうすめた水を含ませて洗ってください。汚れたまま使用していると、その汚れが取れなくなることがあります。

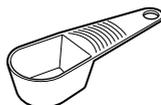
- 水洗いする際は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。

変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが、60℃以上のお湯でお手入れしないでください。

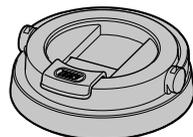
- 洗浄後は、流水で洗剤を流した後、乾いた布で水分を拭き取ってください。



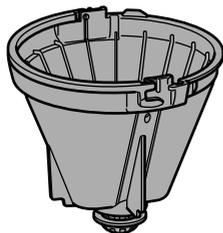
メッシュフィルター



計量スプーン



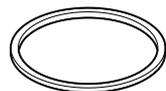
タンブラーふた



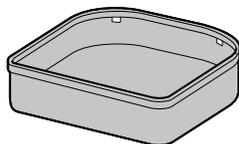
バスケット



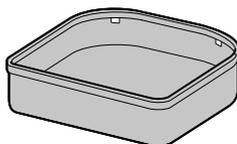
カップトレイカバー



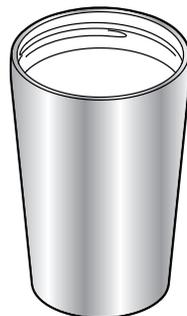
タンブラーふたパッキン



高さ調節トレイ



カップトレイ



タンブラー

お手入れのしかた (つづき)

真空断熱タンブラーをお手入れする際は、下記事項を必ず厳守してください。

- 煮沸はしないでください。
熱により部品が変形し、漏れてやけどや、ものを汚損する原因となります。
- 食器洗浄機・食器乾燥機などは使用しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてやけどや、ものを汚損する原因となります。
- タンブラーは水中に放置しないでください。
すき間に水が侵入し、サビや保温・保冷不良などの原因となります。
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
サビや傷・破損などの原因となります。
- 金属製品との接触により、金属痕がつく場合があります。
- マドラーを使用する際は、木や竹、プラスチック製のものなどを使用してください。
- しつこい汚れを落とす場合はメラミンスポンジを使用してください。



注意

本体の定期洗浄（石灰の除去）

半年に 1 回程度、定期的に行ってください。

● 使用しているうちに、水に含まれる石灰成分が本体内部に付着します。そのまま放置すると故障の原因となるため、定期的に石灰の除去を行ってください。

- ① バスケットを取り付け、水タンクの MAX ラインまで水を入れ、食酢大さじ 1 杯を水タンクに加え、ふたを閉めます。
- ② 空のカップ（480mL）をカップトレイカバーの上のせてください。

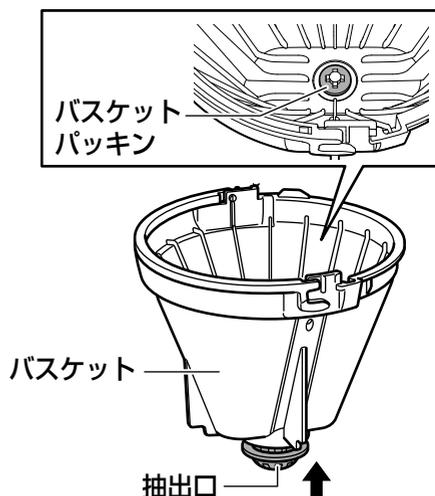
⚠ 注意 カップ（480mL）なしで使用しないでください。
けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。

- ③ 電源プラグをコンセントに差し込み、POWER ボタンを押して電源を入れてください。
- ④ MEDIUM ボタンを押し、DRIP ボタンを押して抽出を開始してください。
- ⑤ 抽出が終わったら、電源を切り、カップのお湯を捨てます。
- ⑥ 5 分以上たってから、食酢の臭いが消えるまで、水だけで 2 回以上抽出をくり返してください。

抽出口

本製品使用後は、抽出口を洗ってください。抽出口にコーヒー粉が詰まると、コーヒーが漏れることがあります。

- バスケットに水をためてから、抽出口を 2、3 回押し上げ、汚れを洗い流します。
 - ※ 抽出口は、強く引っ張ると、はずれることがあるので注意してください。
 - ※ バスケットパッキンの紛失に注意してください。



故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
抽出（ドリップ）ができない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	水タンクに水が入っていない。	水タンクに水を入れてください。 → 12 ページ
コーヒーができない	コーヒー粉をメッシュフィルター（ペーパーフィルター）に入れていない。	コーヒー粉をメッシュフィルター（ペーパーフィルター）に入れてください。→ 11 ページ
コーヒーあふれ出る、漏れる	コーヒー粉を入れ過ぎている。	適切な量を入れてください。 → 11 ページ
	適切なコーヒー粉を使用していない。	中挽きのコーヒー粉を使用してください。細挽き粉を使用する場合は、ペーパーフィルターを使用してください。
	水タンクに水を入れ過ぎている。	付属のタンブラーやお手持ちのマグカップの容量に合わせて水タンクに水を入れてください。
	バスケットに直接コーヒー粉を入れている。	コーヒー粉をメッシュフィルターまたはペーパーフィルターに入れてください。
	タンブラー・マグカップをカップトレイカバーにのせていない。	必ずタンブラー・マグカップをカップトレイカバーの上ののせてから、電源を入れてください。
	レバーが押されていない。	必ずタンブラー・マグカップをカップトレイカバーの中央に合わせてのせ、レバーが確実に押されていることを確認してください。
	抽出口にコーヒー粉が詰まっている。	抽出口をお手入れしてください。 → 19 ページ
抽出に時間がかかる	メッシュフィルターが目詰まりしている。	メッシュフィルターをお手入れしてください。→ 17 ページ
	本体内部にカルキ等が付着している。	定期的にカルキ等の除去をしてください。→ 19 ページ

こんなとき	原因	対処方法
真空断熱タンブラーから飲みものが漏れる	完全密閉構造ではない。	<ul style="list-style-type: none"> ・飲みものを入れた状態で横にしないでください。 ・飲みものを入れた状態でバッグに入れて持ち歩かないでください。
	タンブラーふたや飲み口ふたは確実に閉めていない。	確実に閉めてください。
	タンブラーふたパッキンは確実に取り付けられていない。	タンブラーふたパッキンをタンブラーふたに確実に取り付けてください。 → 8 ページ
	飲みものを入れすぎている。	最大使用量 320mL 以上（上端より約 2cm 低い位置）の飲みものを入れないでください。 → 5 ページ
タンブラー内部が変色した	汚れが付着している。	お手入れしてください。 → 17 ページ
	斑点状の赤いサビが付着している。	水に含まれる鉄分などが付着したものです。 食酢を 10% 程度入れたぬるま湯をタンブラーに入れ、約 30 分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものが付着している。	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。 クエン酸を 10% 程度入れたぬるま湯を本体に入れ、タンブラーふたを付けずに約 3 時間放置後によく洗ってください。

長期間ご使用のダイレクトドリップアロマコーヒーマーカーは 定期的な点検をお願いします

- 電源コードが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷などがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、
すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00~18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy ダイレクトドリップアロマコーヒーメーカー
品番	K-CM12
外形寸法	約 140 (W) × 300 (H) × 195 (D) mm
重量	約 1,140g (付属品含まず)
電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	600W
水タンク容量 (最大)	480mL
抽出方式	ドリップ式
電源コード長	約 0.9m
生産国	中国
付属品	真空断熱タンブラー (320mL)、タンブラーふた、高さ調節トレイ、計量スプーン、ユーザーズガイド (保証書含む)

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。

真空断熱タンブラー単体

品名	真空断熱タンブラー
外形寸法	約Φ 85 × 130 (H) mm 約Φ 92 × 150 (H) mm ※タンブラーふた使用時
実容量※ ¹	0.35L
重量	約 240g ※タンブラーふた使用時
材質の種類	胴部・内びん：ステンレス鋼 タンブラーふた・飲み口ふた・取っ手：ポリプロピレン (耐熱温度：100℃) 飲み口ふたパッキン：SBS 熱可塑性エラストマー (耐熱温度：100℃) タンブラーふたパッキン：シリコーンゴム (耐熱温度：180℃)
表面加工	内びん：セラミック塗膜加工
保温効果※ ²	74℃以上 (1 時間)、40℃以上 (6 時間)
保冷効果※ ³	14℃以下 (6 時間)

※¹ 実容量とは、ふたをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「最大使用量」での水量ではありません。

※² 保温効力とは、室温20℃±2℃において、2時間以上ふたをしないで放置したタンブラーに、熱湯を口元から2cm下まで満たし、湯の温度が95℃±1℃になったときにふたをし、その後1時間および6時間放置したときの、タンブラー内の湯の温度です。

※³ 保冷効力とは、室温20℃±2℃において、2時間以上ふたをしないで放置したタンブラーに、冷水(氷は含めないこと)を口元から2cm下まで満たし、水の温度が4℃±1℃になったときにふたをし、その後6時間放置したときの、タンブラー内の冷水の温度です。

